

ひとりで悩まなくてススムまちへ

田中えい

全ての命を大切に！



坂戸市議会議員 田中 栄 政策レポート 2022.3月号

1回目	2回目	3回目	中和抗体価
モデルナ	モデルナ	モデルナ	→ 10.2倍
ファイザー	ファイザー	モデルナ	→ 31.7倍
モデルナ	モデルナ	ファイザー	→ 11.5倍
ファイザー	ファイザー	ファイザー	→ 20.0倍
アストラゼナカ	アストラゼナカ	モデルナ	→ 27.2倍
アストラゼナカ	アストラゼナカ	ファイザー	→ 14.4倍
アストラゼナカ	アストラゼナカ	アストラゼナカ	→ 2.58倍

※モデルナ製：アメリカ国内では3回とも同量接種

Atmar RL, et al. MedRxiv. Oct 15, 2021. / Munro APS, et al. Lancet Dec 18-31, 2021. より改変

ワクチンの組み合わせで中和抗体価が異なります

新型コロナウイルスワクチン接種率(2月25日時点)
 1回目：86.8% 2回目：86.4% 3回目：22.3%
 という状況です。
 接種券が届きましたら、早めの接種をお願いします。

【3回目接種について】

接種券が郵送されてきたら

接種可能医療機関が同封されているのでご予約ください。坂戸市集団接種会場は、坂戸市コロナワクチン予約サイトにてご予約ください。
<https://vaccines.scisseed.jp/sakado/login>
 《坂戸市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター》
 TEL: 0570-066-001 (ナビダイヤル)
 受付時間：9時から17時
 ☆副反応は2回目とほぼ同等
 交互接種を伴う追加接種の副反応は、1・2回目で報告された副反応と同程度であり、また、交互接種を伴う追加接種と、交互接種を伴わない追加接種の間では、副反応は同等であったとする報告が発表されています。

3回目のモデルナワクチンの接種量は、半量です。

感染したかもと思ったら

【発熱などの症状がある場合】

「埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム」で医療機関の連絡先、受付時間などを確認
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>
 TEL: 048-762-8026
 FAX: 048-816-5801



受付時間：午前9時～午後5時30分(土曜日、日曜日、祝日も開設)
 ☆感染防止のため、受診前に必ず医療機関へ電話連絡し、予約を行ってください。

【自宅療養者への支援】

市内における陽性者は、2月27日時点で3507名です。2月に入ってから、各週400人前後と連日急激な増加がみられます。オミクロン株の特徴は、インフルエンザのような症状で、のどの痛みが強いようです。肺ではなくのどで増殖するため感染力も強いようです。その為、自宅療養者が急激に増えています。

令和2年9月定例会において、新型コロナウイルス感染症対策について一般質問しました。その中で、自宅療養者への支給等在宅患者への支援の考えはあるか執行部に問いました。

保健所が県の所管で、陽性者の情報が市に開示されない為、支援出来ないとのことでしたが、その一年後、県に情報開示を要請し、下記の支援が現在行われています。
 新型コロナウイルス感染症により自宅で療養等をされている方のうち、希望される方に、県と市が連携して、食料品や生活必需品の届け、家庭ごみの搬出代行、パルスオキシメーターの貸与を実施し、市民の皆さんの生活と健康を守っていきます。

※市民健康センターから電話等で連絡し、費用は無料となります。
 2月27日時点で累計969世帯が利用。
 ☆災害時の備蓄にもなりますので、「日常備蓄」として、食料や水、衛生用品などを準備ください。



昨年夏期 看護師 OG として 自衛隊大規模接種センターでの接種業務
 山口晋衆議院議員と
 佐藤正久参議院議員 宇都隆史参議院議員と
 入間基地病院視察 津曲基地司令と
 毎朝の見守り隊活動へのお礼の手紙 パワーをもらいました！
 頑張る医療従事者を癒やすフェス開催
 えいえいえ〜い！



活動実績

あ と が き

今回は、2つの一般質問を深掘りしてみました。昨年に続き新型コロナウイルスワクチン接種情報と令和3年3月に行ったあまり知られていない「成人の予防接種」についてまとめてみました。お役に立てば幸いです。帯状疱疹ワクチンは、水ぼうそうの生ワクチンと組換えワクチンの2種類があります。助成が受けられる自治体もあるので、坂戸市でも提言しました。子どもの頃にかかった水ぼうそうのウイルスが、神経に潜んでいて、免疫が下がった時に発症します。後遺症もきついため、ワクチン接種をお勧めします。

平成30年6月から、2回行った野良猫に関する一般質問は、環境問題としてご理解いただけました。市やボランティアの皆さんや彩の国動物愛護推進員さんのおかげです。野良猫問題を通して、地域の人間関係のもめごとの軽減にも功を奏しています。

実は、飼い主が亡くなったり、入院や施設入居で、遺されるペットの問題もあります。猫だけではなく、犬も2例対応しました。地域包括と共に譲渡先を探し、大変な思いをしました。今後は、大きな問題となりそうです。市では、エンディングノートにペットの項目を入れてくれました。大切なペットのその後も是非話し合って、準備しておいてください。

台風19号の時には、ペットの同行避難も一部で行われました。飼い主の命にかかわる問題ですので、これもまた、市内全域で考え、災害時に避難所になるドッグランなどがあるといいと考えます。

田中 栄は、これからも、市民の皆さんの困ったに、一緒に取組んでまいります。一人で悩まずに、是非お気軽にお声がけください。また、政策提言やボランティア活動の協力者も募集しております。後援会のご入会もお待ちしております。

中面に続く